

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 18 年 10 月 5 日 (2006.10.5)

【公開番号】特開 2006-96412 (P2006-96412A)
 【公開日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-015
 【出願番号】特願 2004-287928 (P2004-287928)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 61/02 (2006.01)

B 6 5 D 61/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 61/02 B R B

B 6 5 D 61/02 B R P

B 6 5 D 61/02 B S B

B 6 5 D 61/02 B S F

B 6 5 D 61/02 B S Q

B 6 5 D 61/02 B S R

B 6 5 D 61/00 B R C E

B 6 5 D 61/00 B R F G

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 16 日 (2006.8.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

組み立てて使用した後、一旦分解して、1 つのユニットにまとめることを繰り返す製品
 梱包枠（1）であって、

少なくとも 3 箇所の隅を有し、該隅から挿入部（8）が下向きに突出している枠体状の
 天井部（2）と、

少なくとも 3 箇所の隅を有し、該隅から挿入部（25）が上向きに突出し、且つ梱包さ
 れる製品（W）が載置される載置部（16）が設けられている枠体状のパレット部（11）と、

上端が前記天井部の挿入部と挿抜自在に接続され、下端が前記パレット部の挿入部と挿
 抜自在に接続される少なくとも 3 本のパイプ支柱（40）と、

前記天井部と前記パレット部とを連結するように取り付けられるとともに該天井部と該
 パレット部とを上下方向に引き付ける引張り手段（51）を備えた引張り支柱（50）と

、

を具備することを特徴とする製品梱包枠。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

次に、上記の課題を解決するための手段を、実施の形態に対応する図面を参照して説明
 する。

本発明の請求項 1 記載の製品梱包枠は、組み立てて使用した後、一旦分解して、1 つのユニットにまとめることを繰り返す製品梱包枠 1 であって、

少なくとも 3 箇所の隅を有し、該隅から挿入部 8 が下向きに突出している枠体状の天井部 2 と、

少なくとも 3 箇所の隅を有し、該隅から挿入部 2 5 が上向きに突出し、且つ梱包される製品 W が載置される載置部 1 6 が設けられている枠体状のパレット部 1 1 と、

上端が前記天井部 2 の挿入部 8 と挿抜自在に接続され、下端が前記パレット部 1 1 の挿入部 2 5 と挿抜自在に接続される少なくとも 3 本のパイプ支柱 4 0 と、

前記天井部 2 と前記パレット部 1 1 とを連結するように取り付けられるとともに該天井部 2 と該パレット部 1 1 とを上下方向に引き付ける引張り手段 5 1 を備えた引張り支柱 5 0 (5 0 a) と、

を具備することを特徴とする。